

「2024年度ベトナム国家大学ハノイ校サマースクール派遣参加報告書」

京都大学工学部2年 荒木 結

①学習成果

ベトナム留学が決まる前は、東南アジアの発展途上国の実態をよく知らず、どのような人がどのような生活をハノイという土地で送っているのかが知りたくて今回のベトナム留学派遣プログラムに参加した。事前語学学習に加え、日本にいる間にベトナムの歴史や政治、現代の社会問題、衣食住や伝統文化などを調べてベトナムについて理解しようとした。だが私のベトナムに対する認識は「中国や米仏など他国による侵略や支配を長い時代にわたり受け続け、戦争の絶えない時代を経て、1980年代のドイモイ政策以降経済成長と生活水準の向上が進む、東南アジアにある社会主義国家」で、インターネットや文献から容易に得られる味気ない知識の並列でしかなかった。しかし実際にベトナムを訪れて、自分の目で見て、耳で聞いて、話して、五感でベトナムを感じたことで、うわべだけの知識では知りようのないベトナムたるものを知った。そのほとんどが以前の想像を裏切るようなもので、滞在中は常に驚きと発見で満ちていた。異文化交流や未知の環境に飛び込み自分の常識を更新していくおもしろさを再確認できて、このプログラムに参加して心から良かったと思う。

②海外での経験

ベトナムでは多くの時間を現地の学生と交流して過ごし、その中で文化の違いをいくつも発見した。ベトナム語では、相手との年齢関係によって人称代名詞や表現が変化するため、初対面の相手でも年齢を尋ねる。実際に現地の学生と自己紹介をした際、名前の次に年齢を聞かれ、個人的な質問にはじめは少々戸惑いを覚えた。また、ベトナムでは日本以上にコミュニケーションで生活が成り立っており、その場その場で居合わせた見知らぬ人ともコミュニケーションをとる。例えば、道越にお店の人に話しかけたり、値切りをしたり、個人的な話をしたりする。あまりにも気楽に行われるので驚いたが、現地の学生によると、これがベトナムの日常だという。ただ、中年、高齢者に比べ、近年若者は個人的な話を避けたい傾向にあるともいい、そのままにぎやかな街の雰囲気が変われないでほしいと思う。他におもしろいと感じたのは、ベトナムは1日の始まりが早いということだ。ベトナム人の多くは朝が早く、現地の先生や学生によると、朝6時に起きる人が多いそうだ。また学校は朝の7時から始まったり、ベトナム民族博物館など多くの公共施設は8時台から開館していたりと、朝早くから活動的である。

③プログラム内容

プログラムの一環として2週間現地の大学で授業を受けた。1週間目は主に外国語大学（ULIS）でベトナム語を学び、さらに日本語の授業を現地の学生と一緒に受けて交流した。2週間目は主に人文社会大学（USSH）でベトナムの歴史と政治や文化や観光地、そして文化人類学の授業などを英語と日本語で受講した。まず、現地の学生の日本語のレベルが高く驚いたが、将来日本に留学したり、日本企業に務めたりするために勉強している学生が多く、目標をもって行動する姿勢に刺激を受けた。またベトナムの歴史と政治の授業では、54の民族がベトナム人という1つの家族として団結するための政策理念や、ベトナム戦争など戦争の負傷者や兵士の遺族などに対する手当など、歴史を反映した考え方を知った。それまで社会主義のベトナムという国は国民をどう扱っているのか否定的に考えていたが、実際講義を受けて、自分の偏見に気が付いた。2週間目の授業の最終日には双方の大学の学生たちと、日本とベトナムにおける人との関わり方の違いというテーマで共同発表をした。両国の人にグーグルフォームでアンケート調査を行い、日本人とベトナム人の社交性の違いを対人関係と文化（国民性）の面から考察した。

④ 進路への影響について

私の専攻科目は建築学である。正直、現時点でこのプログラムが進路にどう影響を与えたかは分からないが、建築の多様性やおもしろさを再確認できた。例えばハノイを歩いて建築がハノイの個性を引き出しているように感じた。タンロン城跡や文廟など中国を彷彿させる中華風建築や、フランス支配やベトナム戦争の名残であるハノイ大教会やホアロー刑務所など、ベトナムの歴史を肌で感じさせる建築が多く並ぶ。また、黄色と緑のカラフルな建物があったり、なるべく多くの家が道路に接するように幅は狭く奥行のある家が積み上げられたように建ったりして、ごちゃごちゃしており、歩いていてわくわくした。社会主義のベトナムでは土地は国のものであるため、土地の使い方としてみんなで1つの大地を共有し、その中で個々人が自分の場所をつくっている印象を受けた。つまり街の人々は無秩序な空間に自分なりの秩序を見出して生活しており、日本の個人主義的な、一戸が他から独立した雰囲気とは異なる。もちろん災害時や利便性、日本のわびさびの文化などを考慮すると、ハノイのランダムな建築や街のあり方だけが正解とは言えないが、無秩序のおもしろさを知れて良かった。